

江差町幼保小中の連携を深めるかけはしシンポジウム

7月26日、江差町役場保健センターにおいて、令和6年度江差町幼保小中の連携を深めるかけはしシンポジウムが開催されました。

江差町教育委員会は、今年度より義務教育9年間での連携・接続から幼保小中の10年間を見通した連携・接続への推進に方向転換しました。本シンポジウムはその取組の一つです。講演では、カウンセリング&コンサルティングオフィスふおるつあ代表の上河邊氏が「ペアレントトレーニング入門」という演題で、子どもとの温かな関係を育むために、避けたい3つの関わりと行うべき3つのスキルを中心に話されました。また、それらを踏まえて参加者がペアとなってワークを行いました。後半は、教育現場での悩みに対して、江差町教育委員会と連携協定を結んでいる北海道医療大学の冨家教授や柳生教授から、解決に向けてのアドバイスがありました。

参加者からは、今回の講演を保護者や地域住民を対象に「エコー」（コミュニティープラザえさし）で行って欲しいとの声も上がっていました。



※この事業は、北海道医療大学との地域連携事業に関する協定に基づき、委託事業・研究の一環として実施しています。

委託事業・研究の内容は以下のとおりです。

目的	<ul style="list-style-type: none">・江差町における学校教育、社会教育の充実と学生実習教育に関する諸課題の解決。・教育相談に関する知識と技術の開発、幼保小中をつなぐ切れ目のない支援のあり方、ならびに、特色ある江差の文化風土の学びを活かし、グローバルかつ持続可能な視点を持った学生実習教育の受け入れ方法について知見を得る。
内容	<ul style="list-style-type: none">・教育相談と心の健康教育に関する地域支援のあり方に関する共同研究の実施・幼保小中をつなぐ切れ目のない支援のあり方に関する共同研究の実施・特色ある江差の社会教育を活かした学生実習教育の受け入れに関する共同研究の実施・グローバルかつ持続可能な視点を活かした地域連携の方法に関する共同研究の実施
期間	・令和6年6月1日から令和7年3月31日まで